データに基づく客観的課題 "地震の軽減対策が必要"

図表6 箕輪町における地震被害想定(2015)

	マグニ チュード	30年内発生 確率	震度	全半壊 (棟)	死者 (人)	停電 (軒)			
糸静線南側	M7.6	13~30 %	7	4,390	100	11,510			
東海地震	M8程度	88 %	5強	わずか	わずか	2,460			
南海トラフ	M8∼9	70 %程度	6 इड	1,190	10	10,010			

2015年 政府地震調査委員会、長野県第3次地震被害長結果から

図表7 長野県における滅災効果の想定



10 長野県発表:糸魚川 - 静岡構造線断層帯の地震での減災憩定(2015)

地震被害軽減プログラム(平成28年3月~新たに設定したプログラム)						
課題	地震被害の軽減対策が不十分					
目標	地震からの減災意識と減災対策の向上					
内容	①減災・防災意識を高め、訓練参加者や防災士を増やす ②家具転倒防止対策や感震ブレーカーの普及を促進する					
対 象	家庭、企業、保育園、小中学校					
実施関係者	消防署、消防団、民生児童委員協議会、SCくらしの安全対策委員会など					

ト記プログラムの評価指揮及びプログラムの効果

指標	指標内容【測定方法】									
活動指標	検討中	_								
認識・知識	緊急メール登録 数	2016年 緊急情報メール 3,535人 登録率 13.6%								
態度・行動	震災総合訓練参	年	2012	2013	2014	2015	2016			
	加者数	人数	3, 746	3, 933	3, 932	3, 329	3, 904			
	防災士数	人数	7	12	15	26	35			
	家具転倒防止対 策実施率	n=399	-	-	-	-	32.0 %			
	感震ブレーカー 設置率	n =400	_	_	_	_	6.5 %			
状態・状況	町の減災効果の 推定値	算定方法については今後検討していく								

感震ブレーカーについて





○効果

- ・阪神淡路大震災→火災通報 237 件で 60%が通電火災
- ・東日本大震災 →火災 111 件、原因特定 108 件のうち 54% が電気関係出火
- · 首都直下地震 →推定死者 2 万 3 千人、全壊焼失 61 万棟 ⇒感震ブレーカーで火災死者を40%以上減らせる。
- ○箕輪町で予測される地震による火災被害
 - ・糸静線南側 120 棟が焼失
 - 伊那谷断層 110 棟が焼失
- ○価格等(各種メーカーがあるため、ひとつの参考として) 写真の感震ブレーカーについて
 - 機能

揺れによりブレーカーを切断するもので、震度5強と震度6弱の切り替え設定有。

東海地震予測

~箕輪町で震度5強

南海トラフ地震予測 ~箕輪町で震度6弱

平成29年6月25日木曽地震は、木曽町、大滝村で震度5強

・取扱い業者

松本市中央4丁目5番3号 信州電機産業(株) 0263-33-0210

• 価格

定価 4860 円を 3500 円(18%引き)

• 注意点

従来のブレーカーにしか装着できない。(最近のカバーのあるブレーカーにはスペース上からつけ られない。最近のブレーカーは感震装置を備えているものもある。)

参考

業者が来町することから、この機会を通じて受領可能。

日本セーフコミュニティ推進機構上席アドバイザー 箕輪町セーフコミュニティ推進協議会アドバイザー 向山 静雄 090-1451-1017